

## ナガミヒナゲシ (長実雛罌粟)

名前の<sup>いみ</sup>意味：果実が長いヒナゲシの意味。

分類：双子葉類、ケシ科、ケシ属

好きな場所：日当たりのよい道ばた。

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ヨーロッパ

特徴：うなだれるつぼみ、ポピーそっくりの薄いオレンジ色の花弁  
、先に小穴が開いた<sup>えんとうじょう</sup>円筒状の果実。

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：4枚、<sup>りべん</sup>離弁 (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：4—5月

見分け方：ヒナゲシは花が大きく、花の色は赤、ピンク、白など。

アイスランド・ポピーは花が大きく、花の色はオレンジ、黄色、白。

見つけやすさ ★

見分けやすさ ★

<sup>そうごうなんいど</sup>  
総合難易度 ★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)